

No.254

2021年
11月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館
〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

第75回 読書週間

「最後の頁を閉じた 違う私があった」

10月27日から11月9日は読書週間です。

今年の標語は「最後の頁を閉じた 違う私があった」です。

図書館では「読書週間」と「読書の秋」にちなんで11月は企画展示のほかに「読書クイズ」を行います。

ぜひお立ち寄りください。



★集まれ!!小中学生

「図書館読書クイズ」

11月25日(木)まで

今年も恒例行事の「図書館読書クイズ」を開催します。対象は小中学生。図書館の本で調べて、答えてください。全問正解者には記念品をプレゼント！(正解者多数の場合は抽選となります。)

詳しくは図書館窓口で!!



展示のご案内

★ メイン展示

「読書週間2021」

展示期間 11月25日(木)まで

メイン展示は「読書週間2021」と題してファンタジー、冬じたく、歴史人物という3つのコーナーを設けました。



●メイン展示図書(抜粋)

「ナルニア国の住人たち」「はじめての編み物かぎ針編み」「干し野菜のおいしいレシピ」「幕末明治の肖像写真」「失敗図鑑」「武将」

読書会に参加しませんか

図書館では4月を除く偶数月に大人のための読書会「本をたのしむ会」を開催しています。

読書会は、本の感想を複数人で話し合ったり読んだ本の紹介などをを行う会のことです。

今回は12月10日(金)19時からの予定です。堅苦しい会ではありませんので、お気軽にご参加下さい。

読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

N

道尾秀介 著
集英社

自分で作る720通りの物語。全6章を
読みたい順番で読むことができ、はじまり
も結末も決めるのは自分自身。

読む順番で世界が変わり、バラバラに
なった物語を一つに作り上げて自分だけの
物語にすることができる。

今までに誰も読んだことのない体験型小
説となっています。

(児童)

体育がある

村中李衣 作/長野ヒデ子 絵
文研出版

花園小学校4年1組の亀山あこは、体育
が徹底して苦手な女の子で、体育の授業で
は常に撃沈の連続！家に帰ると決まってマ
マとの猛特訓の日々の中、大好きな祖母の
久々の訪問に喜ぶあこに対して、またして
もママの特訓が始まり巻き起こる大波乱!!

「体育ギライ」の全ての子どもたちに贈
る、親と子両方の視点で共感でき、体育を
めぐって成長する姿をユーモアに描いた物
語です。

(一般)

ウチの江戸美人

いずみ朔庵 著/ポーラ文化研究所 監修
晶文社

江戸の女性は、どんなおしゃれを楽しん
だのでしょうか。

この本は、江戸からやってきた「江戸美
人ちゃん」と、独身会社員の「現代女子
ちゃん」がルームシェアしながら、お互い
の価値観や好みを否定せず、時には共有し
ながらおしゃれや趣味を楽しむ様子が四コ
マで描かれています。

現代とは違う江戸の化粧文化を学びなが
ら、女子2人のやりとりを楽しんでみて下
さい。

(児童)

こうさぎと
おちばおくりのうた

わたりむつこ 作/でくねいく 絵
のら書店

ぼん！ぼん！と花火が上がったうさぎ
まちの朝。4ひきのこうさぎの兄妹はわく
わくしながら目を覚ましました。今日はあ
きまつり、おちばおくりの行列を見に行く
のです。でもその行列に付いて行った4ひ
きは森で迷子になってしまい…。

秋の落葉に色づいた森の風景が美しく描
かれた絵本。こうさぎの兄妹たちと秋の魔
法に優しくつまれてみませんか？

※この本の紹介文は、スタッフが書きました。

マチュピチュ遺跡

山下量子

先日、家の掃除をしていると昔の海外旅行の日程が出てきた。海外に気兼ね無く行けた日々を懐かしく思う。

自分が行った場所の中で、最も忘れられない場所は、ペルーのマチュピチュだった。

世界遺産で最も行きたい場所のトップに君臨しているマチュピチュ。荘厳で美しくもあったが、同じだけ過酷だったのを今でも覚えている。

それは、私がちょうど大学を卒業した頃のこと、社会人ではなかなか行けなくなるからと卒業旅行のつもりだった。友達が誘ってくれたのがきっかけで、女2人旅だった。

マチュピチュは高山の都市。高山病との闘いになることは知っていたので、行く前からプールや肺活量を鍛える器具で、呼吸トレーニングをしていた。

が、マチュピチュの最寄りの都市、クスコで標高が約3,400m。この時点で、既に私は頭痛を感じていた。体は、プールから上がった時のように重たく感じ、階段をあがるにも普段の3倍、重苦しい。これは、高山で酸素が身体に行きわたらないからだという。まるで何倍も歳をとったかのように、ゆっくりとゆっくりとしか動けなかった。

高山病は、海拔0m付近から1日の間に、2500m以上上がると起こりやすいとのことで、クスコの標高を考えると無理も無い。とはいっても、徐々に高山に体を慣らす日程を組めるほど、リッチでも無かったからしょうがない。

が、実はマチュピチュは、クスコよりも標高が1000mほど下がる。バスで移動し、高度が下がった分、楽になった気がした。

よくあるマチュピチュ遺跡の写真。それはマチュピチュで撮ったのではなく、ワイナピチュという隣接する山の上から、マチュピチュ遺跡を見下ろして撮ったものである。なので、私は、高山病と戦いながら、標高2,693mのワイナピチュ山を1時間半かけて登る必要があった。

ただ、私の体は頑丈な方で、華奢な私の友達、高山病ですっかり参ってしまっていた。頭痛の苦しみに耐えきれず、涙を流すほどで、その度に「オキシジェン プリーズ！」と叫んで、携帯用酸素ボンベをもらって、彼女の口に酸素を送る必要があった。

私を襲ったのは、頭痛だけではない。

その前日の食べ物（もしくは水か）、あたったのだ。その夜は、吐き気と共にトイレに何度もかけこみ、一睡もしていない状態で、友達の分の荷物も背負って山を登る・・・過酷だった。

そんな私たちに渡されたのは、なんとココインの原料になる葉、ココアの葉！

これを現地住民も食べるらしく、ガイドの人に渡された。これを噛んで山を登れと。

間違っって日本に持ち帰ったら大事になるなと思いつつ、ココアの葉を口に入れ、むしゃむしゃと噛んだ。頭痛には即効性があるらしく、私が無事に、マチュピチュに到着できたのは、そのココアの葉のおかげだったと今、つくづく思う。

けれど約500年前に造られたという空中都市マチュピチュ遺跡を見下ろした時、すべてが報われた気がした。とても美しかった。静かで時の流れが止まった。ちょうどその当時、他の遺跡も見つかったそうで、まだまだ未知の遺跡があることにロマンを感じたし、地質活動が活発にも関わらず地震にも耐え、年間雨量2000ミリメートル近い雨水を排水する綿密な設計を誰がしたのか？思いをはせた。

インカ帝国は、アンデス文明の系統における最後の先住民国家と言われている。私は英語のガイドを雇っていたのだが、マチュピチュ以外の遺跡も訪れながら、彼らが太陽を崇め、太陽に向けて開かれている神殿ばかりを創っていることを知った。彼女の話で悲しくなったのは、何も知らないインカの人々が、スペイン人の来訪を神が来たと思ひ、彼らを受け入れ、金やダイヤを略奪されたという話だった。神殿の柱に埋め込んだダイヤも、ミイラに抱かせていた金も、ミイラごと破壊され奪い取られた。さらには、神殿を壊した石で、カトリック教会を建てられた、と。時代はこうやって、強者によって上書きされてしまうのだろう。それも運命だった、と思うしかない…。

そんなペルーでの旅を懐かしく思い出していた。



～新着図書のご紹介～

一般図書



- 0 「IoTモノのインターネット」 高安篤史
 0 「100万回死んだねこ」 福井県立図書館
 1 『自分を幸せにする「いい加減」の処方せん』 藤野智哉
 2 「下級武士の田舎暮らし日記」 支倉清
 3 「仕事にあふれるムダを見つけてなくす方法！」 はざま悟
 3 「どうしても頑張れない人たち」 宮口幸治
 3 「おうち避難のためのマンガ防災図鑑」草野かおる
 4 「最近、地球が暑くてクマってます。」水野敬也
 4 「はじめての不妊治療」 森本義晴
 5 「すっきり暮らすためのもの選びのコツ」柳沢小実
 5 「腸活オートミール弁当」 工藤あき
 6 「オーガニック植木屋の剪定術」 ひきちガーデンサービス
 6 「いぬ大全304」 藤井康一
 7 「賞状の書き方」 前田篤信
 7 「教養としての茶道」 竹田理絵
 8 「短くても伝わる文章の書き方」 白藍塾
 9 「風と共に去りぬ」 荒このみ
 9 「月曜日の抹茶カフェ」 青山美智子
 9 「民王」 池井戸潤
 9 「砂に埋もれる犬」 桐野夏生
 9 「7.5グラムの奇跡」 砥上裕将
 9 「夜が明ける」 西加奈子
 9 「ルパンの絆」 横関大

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「大人も知らない！？偉人の実は…」 ござきゆう
 「SDGsで見る現代の戦争」 伊勢崎賢治
 「海について知っておくべき100のこと」 ジェローム・マーティン
 「くらべてみよう！学校のまわりの外国から来た植物」 亀田龍吉
 「ペットボトルで育てよう」 谷本雄治
 「調べてわかる！日本の川」 佐久間博
 「方言ずかん」 篠崎晃一
 「かせいじんのおねがい」 いとうひろし
 「めいたんていサムくんとなぞの地図」 那須正幹
 「ふしぎ駄菓子屋銭天堂 16」 廣嶋玲子
 「赤い糸でむすばれた姉妹」キャロル・アントワネット

絵本



- 「よあけ」 あべ弘士
 「ほんやねこ」 石川えりこ
 「コールテンくんのクリスマス」 ドン・フリーマン
 「カレーライス」 やなせたかし
 「パパもママもボクがしんぱい」 神山ますみ
 「ありがとうのうたをうたえば」マイケル・モーパーゴ
 「こうさぎとおちばおくりのうた」 わたりむつこ
 「ぼすくまです！」 中丸ひとみ
 「あきをみつけたよ」 平野恵理子
 「おさるのジョージとうひょうをする」 M. レイ

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
 そちらもぜひご覧ください。

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00
 ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

■ は休館日